

地域の特性を活かした 医療介護連携を考える

～寄り添うケアを目指した社会資源の活かし方～

特定非営利活動法人

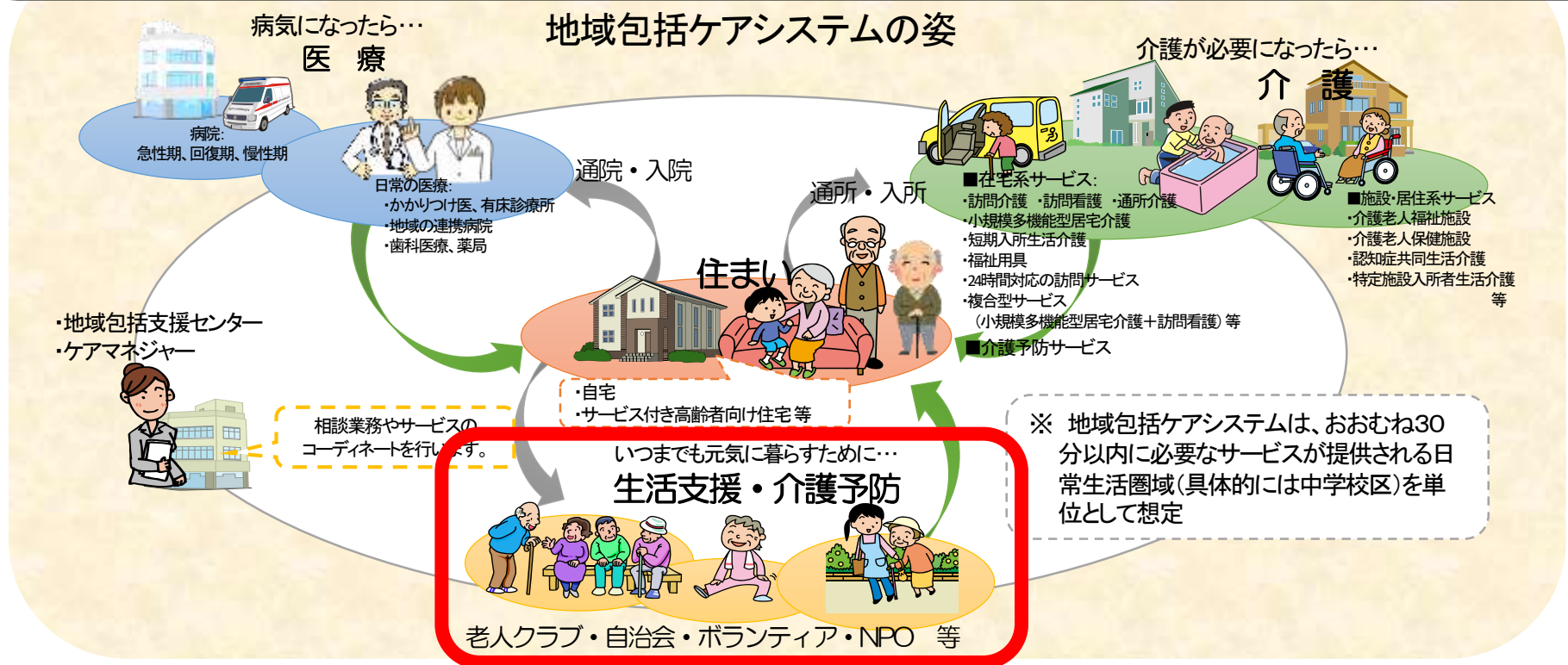
どリーまあサービス 理事長

主任介護支援専門員

山口 浩志

地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



時代の変化

これまで

高齢化
(人口)

1970年代以降

単身化
(家族)

1980年代以降

非正規化
(雇用)

1990年代以降

これから

人口減少
(地域)(支え手)

人生100年時代
(生き方)

IT化

グローバル
化



末広事業所



法人本部事務局

◆居宅サービス

- ・ヘルパーステーションたすけあい
- ・居宅介護支援事業所どリーまあ徳島
- ・デイサービス夢ハウス

◆インフォーマルサービス

- ・有償ボランティアコーディネート

◆徳島市委託事業

- ・徳島市元気高齢者づくり事業

- ・徳島県介護支援専門員協会事務局

沖洲事業所



◆居宅サービス

- ・サービス付き高齢者向け住宅
レスポワール(16室)

◆併設施設

- ・ヘルパーステーションたすけあい沖洲
- ・デイサービスセンター夢ガーデン
お泊りデイサービス



- ・どリーまあ訪問看護ステーション
- ・児童デイサービスどリーむキッズ
- ・おきのすサロン

川内事業所



◆居宅サービス

- ・サービス付き高齢者向け住宅レスポワールⅡ（29室）

◆併設施設

- ・ヘルパーステーションたすけあい川内
- ・デイサービスセンター夢ファミリー

職員の保有資格

★ 主任介護支援専門員

★ 介護福祉士

★ 看護師

★ 保育士

★ 理学療法士

★ 認知症ケア管理士

★ 介護支援専門員

★ 社会福祉士

★ 准看護師

★ 歯科衛生士

★ 作業療法士

★ 実務者研修



障がい（小児）の支援



児童デイサービス 家族会

ハンドマッサージで癒しの時間





子どもクリスマス会



お花見での様子



これまでの取り組み

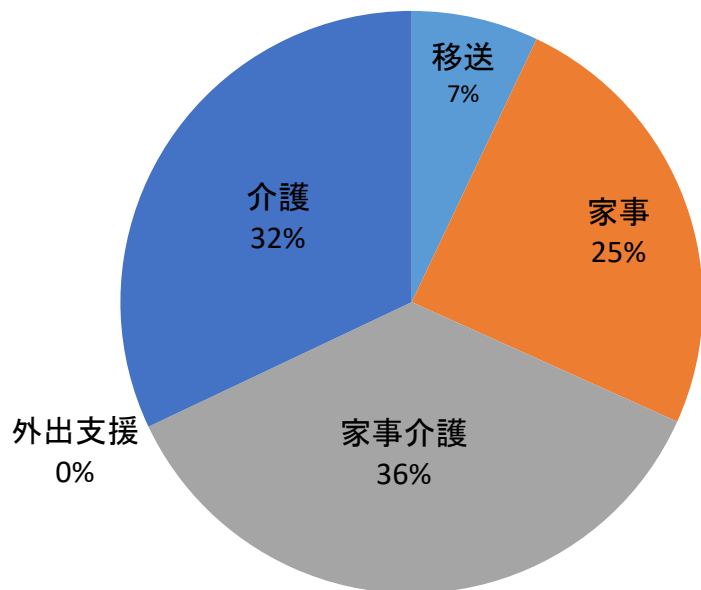


平成29年度実績

有償ボランティア

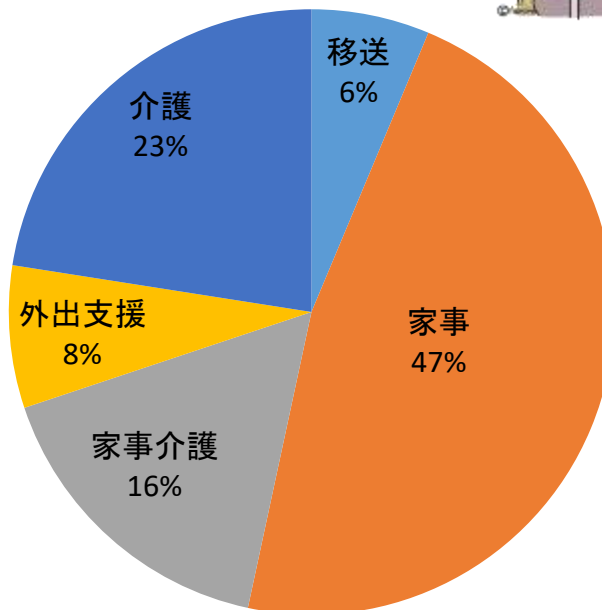


平成21年度



・移送	163件
・家事	570件
・家事介護	837件
・外出支援	0件
・介護	740件

平成29年度



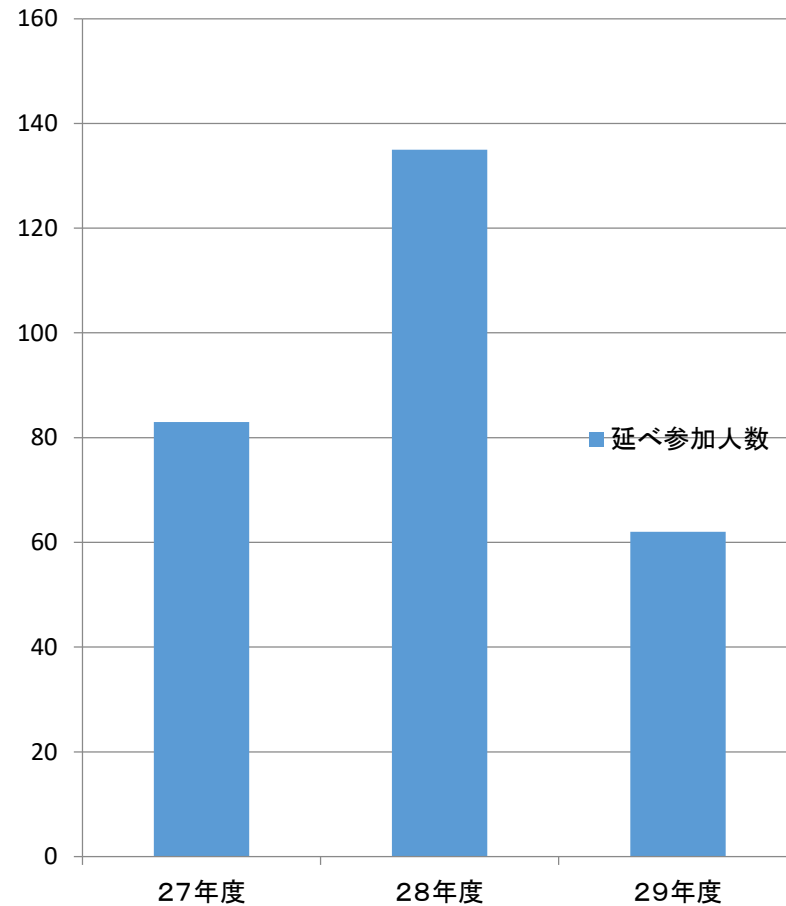
・移送	88件
・家事	656件
・家事介護	230件
・外出支援	106件
・介護	314件

おきのすサロン

月2回開催



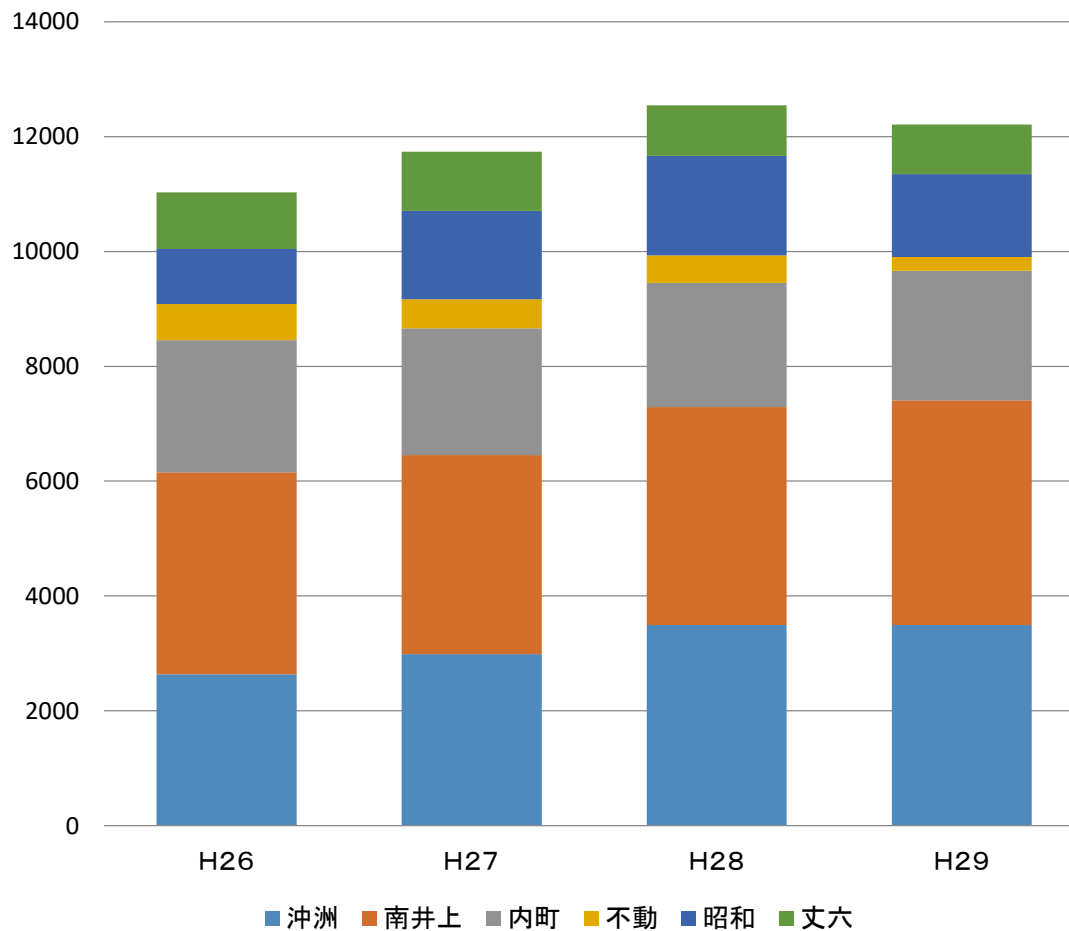
延べ参加人数



元気高齢者づくり事業

徳島市内6カ所で開催

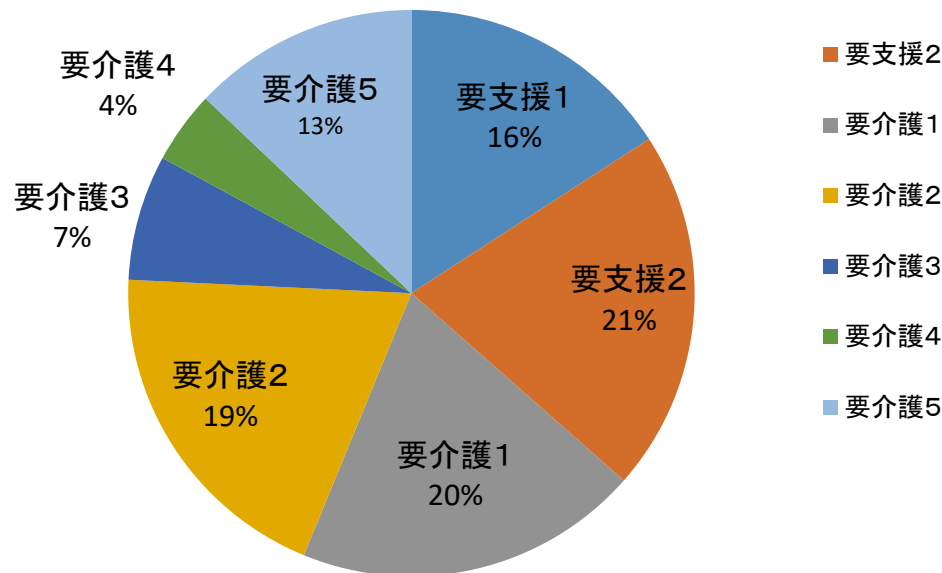
年間延べ参加者数の推移



ヘルパーステーションたすけあい

- ・年間利用者数

- ・予防給付 148人、介護給付 531人、障害自立支援 144人



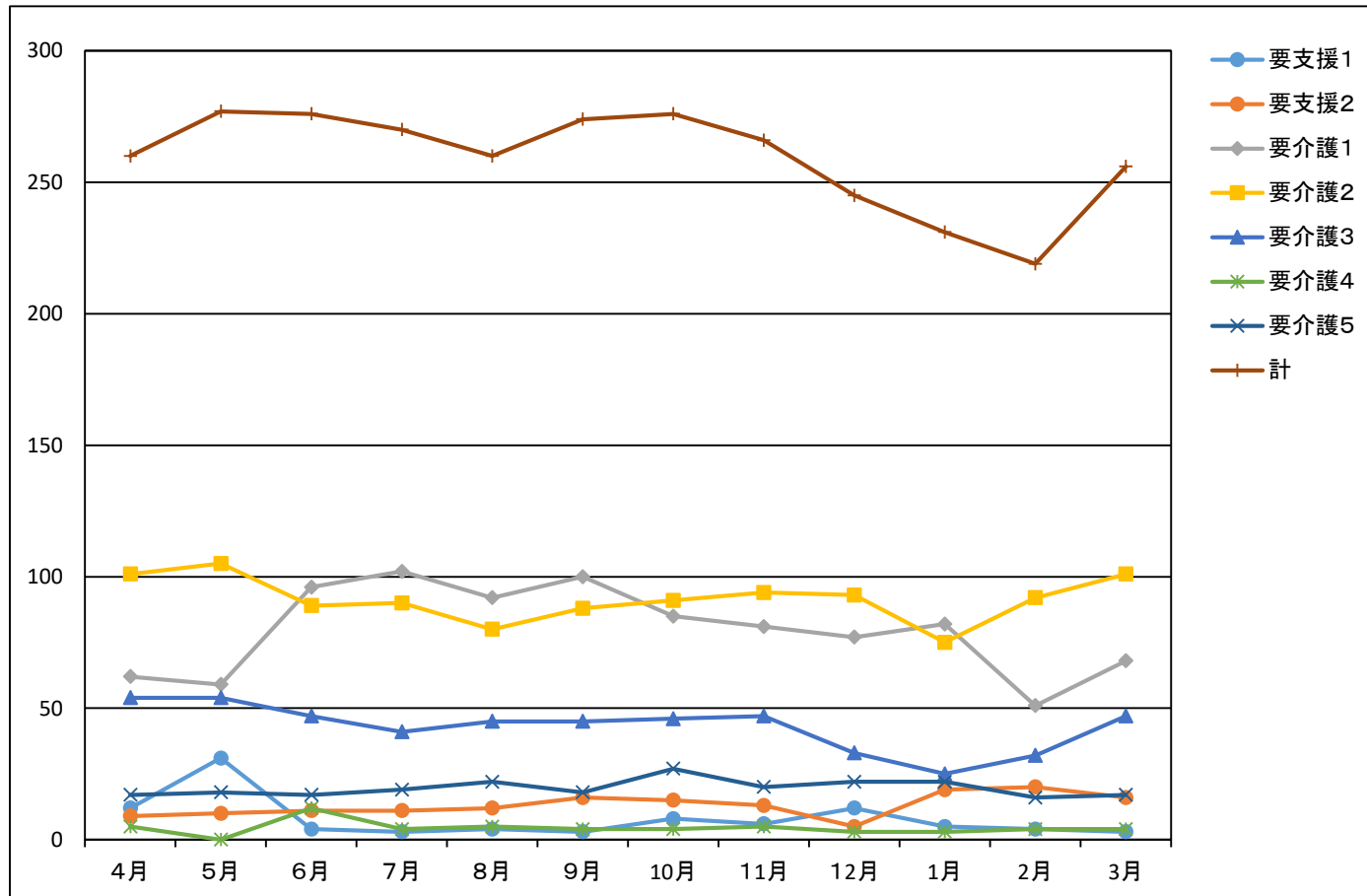
デイサービスセンター夢ハウス

年間延べ利用者数 3,110人

平均介護度 2,0



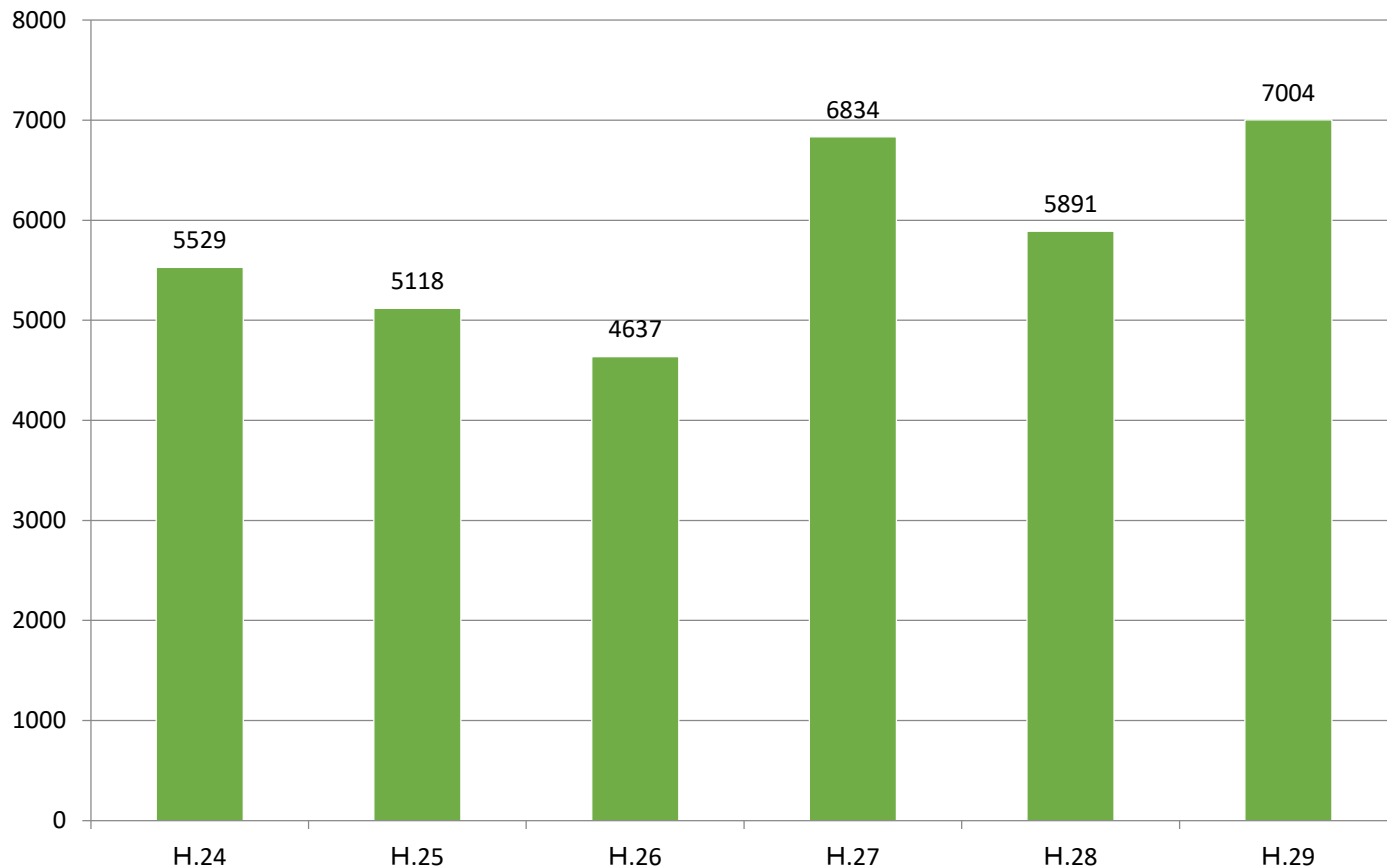
平成29年度
介護度別延利用者数



訪問看護ステーション



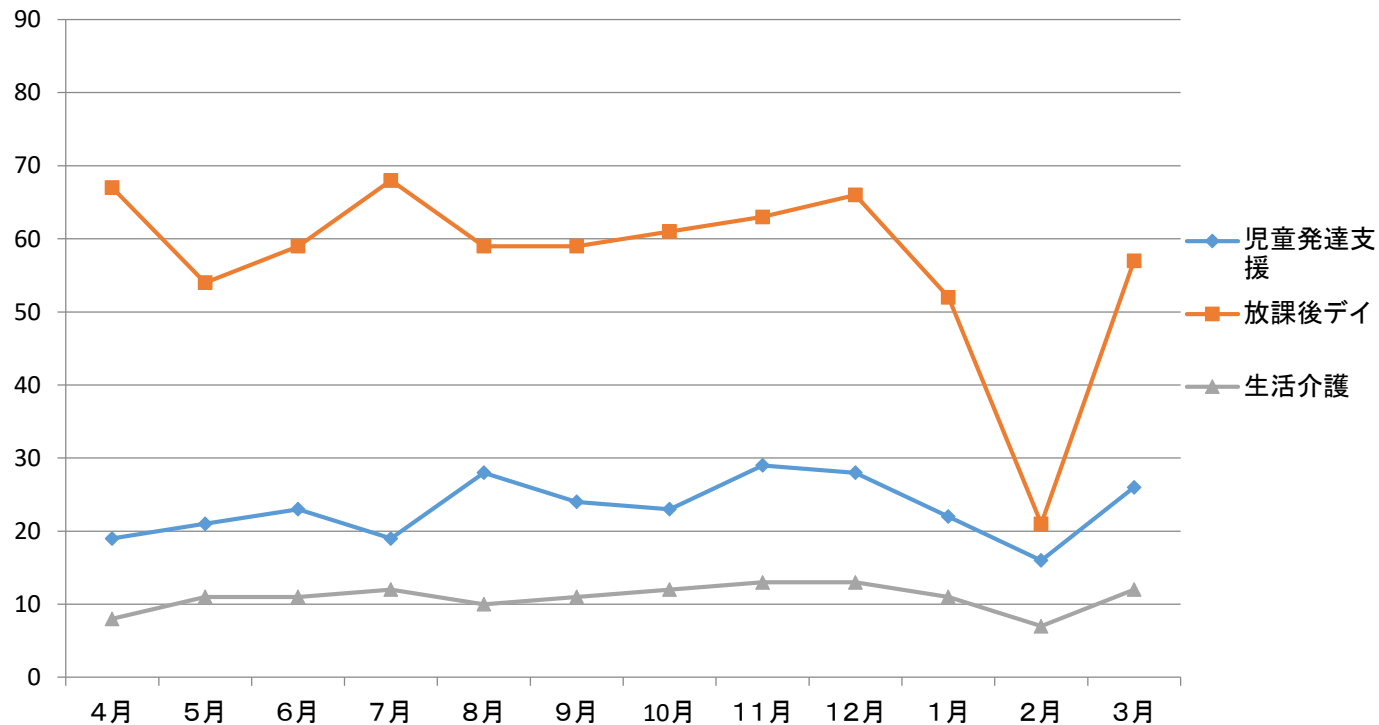
- ・年間利用者延人数 7,004人
- ・介護保険 3,540人、 医療保険 3,464人



児童デイサービス



・年間利用者延人数 1,223人
児童発達支援 299人、 放課後デイ 789人、 生活介護 135人





小地域交流サロン事業(H21～H23)



小地域交流サロン事業(H21～H23)



支え愛コーディネーター育成
プロジェクト事業(H23)



支え愛コーディネーター育成
プロジェクト事業(H23)

どリーまお事業展開

2019

どリーむキッズよしの川
(児 童 デ イ)
2019年7月開所

体操教室 (徳島市委託事業)

南井上教室
南井上コミュニティセンター
火・金曜日
9:30~11:30

体操教室 (徳島市委託事業)

不動教室
不動総合センター
火・木曜日
9:30~11:30

体操教室 (徳島市委託事業)

内町教室
内町コミュニティセンター
月・木曜日
9:30~11:30

体操教室 (徳島市委託事業)

沖洲教室
沖洲コミュニティセンター
月・木曜日
9:30~11:30 13:00~15:00

体操教室 (徳島市委託事業)

昭和教室
昭和コミュニティセンター
金曜日
10:00~12:00

体操教室 (徳島市委託事業)

丈六教室
丈六コミュニティセンター
木曜日
10:00~12:00

小地域交流サロン

鳴門市林崎地区
林崎保育所
第2・4週 火曜日
13:00~15:00

小地域交流サロン

阿波市
秋月集会所
金曜日
10:00~12:00

小地域交流サロン

小松島市江田地区
江田町会堂
第2・4週 月曜日
14:00~16:00

小地域交流サロン

小松島市千代地区
中田町公民館
木曜日
13:00~15:00

小地域交流サロン

小松島市坂野地区
高塚集会所
第1・3週 木曜日
9:30~11:30

小地域交流サロン

徳島市富田地区「なごみ」
フリーゾーン大道
水曜日
10:00~12:00

川内事業所

- ・レスポワールⅡ (サ高住)
- ・夢ファミリー (通所介護)
- ・たすけあい川内 (訪問介護)

沖洲事業所

- ・レスポワール (サ高住)
- ・夢ガーデン (通所介護)
- ・たすけあい沖洲 (訪問介護)
- ・どリーむキッズ (児童デイ)
- ・訪問看護 ・おきのすサロン

本部事務局 徳島市末広

- ・夢ハウス (通所介護)
- ・たすけあい (訪問介護)
- ・ケアマネジメント
- ・NPO 活動 (コーディネート)
- ・高齢者元気づくり事業



事例紹介

～ サービス付高齢者向け住宅から
在宅復帰に向けた取り組み ～

サービス付き高齢者向け住宅レスポワールⅡ

- ・ 利用者様の平均年齢(31年4月現在)85歳
- ・ 平均要介護度「3」
- ・ 連携医療機関 訪問診療(病院3ヶ所、クリニック6ヶ所)
- ・ 連携調剤薬局 1社
- ・ 連携福祉用具業者 4社



利用者のご要望に応じた対応

体 験 入 居

1泊からでもお気軽にどうぞ 😊

レ ス パ イ ト

介護をされているご家族の休息として 😊

ミ ド ル ス ティ

1ヶ月から2ヶ月間のご利用も可能です 😊

在 宅 復 帰

退院後、在宅生活への準備期間として 😊

利用者概況①



- 氏名 S・Hさん 86歳 ・ 介護度 要介護3
- 住まい 徳島市内
- 疾病名 脳梗塞(中大脳動脈領域梗塞)
後遺症・・・見当識障害、高次脳機能障害
- 本人 独身の頃はデパート勤務、結婚後は専業主婦
物静かで聡明
若い頃から社交的であったが入院する1年程前からこもりがちになり、外出は買い物程度
数年前に高血圧指摘され、服薬していたが、その後、受診もせず今回の疾病の要因となった

利用者概況②

・家 族 夫(92歳)、長女夫婦(市内別居)、長男夫婦(東京)

自宅を改修して娘と
一緒に住んでもらう！
妻の認知症が心配！
妻の世話の為に一緒
にいる！



夫

父親には言っていない
が母親は施設で暮らし
てもらった方が良いので
はないか・・・
2人の世話は難しい・・・



長女

夫は元公務員。退職してからも地域活動をして家には殆どいなかった。責任感強いがプライドも高く、妻に対しては高圧的

公務員の夫と結婚。車で30分ぐらいの所に持家。子どもはいない。社交的な性格。

支援経過



- 29年 9月 脳梗塞を発症 入院
- 10月 A病院回復期病棟へ移棟
- 30年 2月 当法人サービス付き高齢者向け住宅入居希望
A病院にて退院前カンファレンス実施
- 3月 住宅内で入居前カンファレンス実施
住宅内で入居後カンファレンス実施
- ☆自宅復帰の希望を話される
- 5月 病院にてリハ会議参加
- 11月 要介護3から要介護1に改善する

在宅復帰に向けた取り組み①

転倒・骨折しない 『個人因子』



【課題】

- ・ 軽度片麻痺によりバランスが悪い
入居後2回転倒（6月、11月）

【取り組み】

- ・ 訪問リハ体制変更（ST2/W→ST・PT各1/W）
- ・ バーセルインデックスにより評価の可視化
- ・ 杖の導入と習慣づけ

在宅復帰に向けた取り組み②

転倒・骨折しない 『環境因子』

【課題】

- ・ 住宅環境の改善
築50年 バリア（段差等）が多く危険



【取り組み】

- ・ バリアフリーの家を新築（長女夫婦との二世帯住宅）
- ・ PTによる新居の住環境の調査・アドバイス

在宅復帰に向けた取り組み③

新たな在宅支援体制づくり 『夫』



【課題】

- ・ 関係性 … 自己中心的な性格で頑固さもある。昔はお互いに干渉せず生活できていたが、ぶつかる事が増えた

【取り組み】

- ・ 夫の責任感の強さを活かす役割づくり
- ・ 妻の役割づくり
- ・ 円滑な距離感

在宅復帰に向けた取り組み④



新たな在宅支援体制づくり 『長女』

【課題】

- ・ 関係性・・・約40年別に暮らす
お互い独立し関わりは深くない
介護もした事がない（イメージがない）

【取り組み】

- ・ 長女の役割を設ける
- ・ 新たな親子関係の構築を図る

在宅復帰に向けた取り組み⑤

新たな在宅支援体制づくり 公的支援

【課題】

- ・ 新たな在宅サービス体制



【取り組み】

- ・ 慣れ親しんだ(住宅併設)のデイサービスやA病院訪問リハを継続し利用する。



31年3月夜
自室で大声で口論し
夫が妻に手をあげる

【長女】

- ・ 優しくて大きな声を出したのを見た事がない父親像
- ・ 賢く夫を立て反論する事もない母親像

現状の新たな夫婦関係・親子関係の
受容ができた

在宅復帰に向けた取り組み『まとめ』

本人・夫・長女への傾聴

問題や不安を一緒に考え、解決する

在宅復帰後も関わりを継続し寄り添う

本人・家族中心の「安心して在宅で過ごせる」支援体制づくり



介護報酬効果検証

厚生労働省 調査報告より

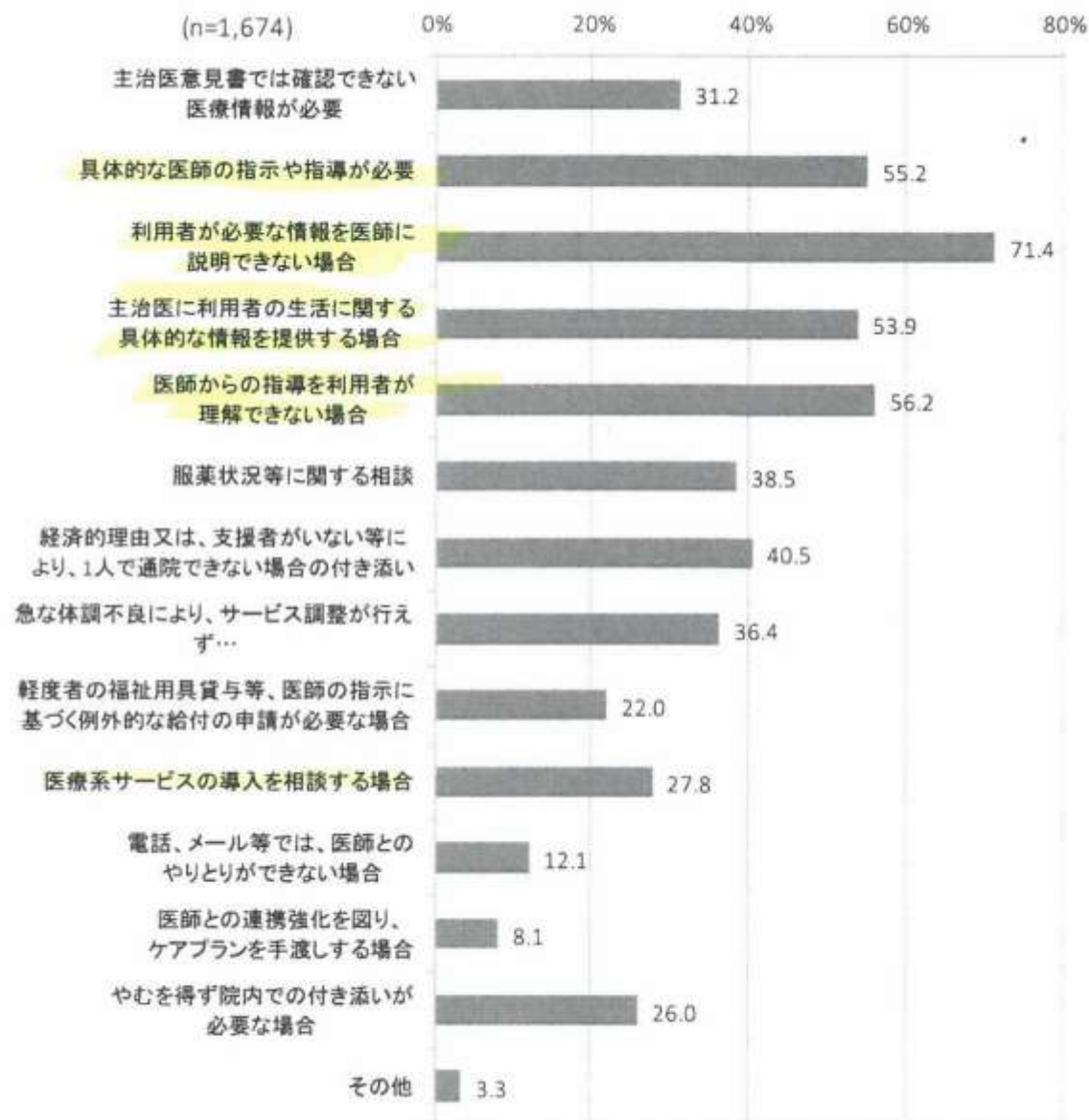
平成 28 年 9 月中に利用している介護支援サービス；主治医との連携の状況別
 【入院・退院・看取りのいずれにも該当しない利用者】（利用者調査票）（複数回答）

	合計	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護 (介護予防含む)(医療保険除く)	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護
全体	3,473 100.0%	1,236 35.6%	86 2.5%	400 11.5%	204 5.9%	209 6.0%	2,142 61.7%	603 17.4%	446 12.8%
主治医意見書を取得した 医師に対してケアプランを 提示した	851 100.0%	347 40.8%	32 3.8%	144 16.9%	58 6.8%	113 13.3%	494 58.0%	174 20.4%	109 12.8%
利用者の受診時に同行し たことがある	774 100.0%	407 52.6%	35 4.5%	140 18.1%	54 7.0%	88 11.4%	453 58.5%	133 17.2%	90 11.6%
利用者の健康状態の変化 等について報告、相談して いる	1,026 100.0%	474 46.2%	30 2.9%	175 17.1%	68 6.6%	114 11.1%	603 58.8%	193 18.8%	139 13.5%
主治医にサービス担当者 会議に出席を求めている	323 100.0%	143 44.3%	17 5.3%	61 18.9%	28 8.7%	54 16.7%	195 60.4%	67 20.7%	46 14.2%
病状(予後・改善可能性) について意見を求めている	709 100.0%	312 44.0%	30 4.2%	126 17.8%	54 7.6%	81 11.4%	407 57.4%	144 20.3%	95 13.4%
その他	603 100.0%	162 26.9%	13 2.2%	56 9.3%	31 5.1%	23 3.8%	369 61.2%	97 16.1%	88 14.6%

平成28年9月中に利用している介護支援サービス:主治医との連携状況別
【入院・退院・看取りのいずれにも該当しない利用者】(複数回答)
～その2～

	短期入所療 養介護	福祉用具貸 与	特定福祉用 具販売	住宅改修 (これまで の利用の有 無)	夜間対応型 訪問介護	認知症対応 型通所介護	定期巡回・ 随時対応型 訪問介護看 護	無回答
全体	81 2.3%	1,784 51.4%	113 3.3%	330 9.5%	12 0.3%	63 1.8%	22 0.6%	65 1.9%
主治医意見書を取得した 医師に対してケアプランを 提示した	26 3.1%	469 55.1%	27 3.2%	100 11.8%	4 0.5%	21 2.5%	10 1.2%	1 0.1%
利用者の受診時に同行し たことがある	24 3.1%	436 56.3%	25 3.2%	85 11.0%	4 0.5%	23 3.0%	12 1.6%	5 0.6%
利用者の健康状態の変化 等について報告、相談して いる	33 3.2%	600 58.5%	37 3.6%	101 9.8%	3 0.3%	28 2.7%	11 1.1%	9 0.9%
主治医にサービス担当者 会議に出席を求めている	9 2.8%	200 61.9%	11 3.4%	43 13.3%	0 0.0%	4 1.2%	5 1.5%	3 0.9%
病状(予後・改善可能性) について意見を求めている	22 3.1%	434 61.2%	28 3.9%	91 12.8%	4 0.6%	13 1.8%	11 1.6%	7 1.0%
その他	9 1.5%	293 48.6%	22 3.6%	61 10.1%	0 0.0%	8 1.3%	1 0.2%	6 1.0%

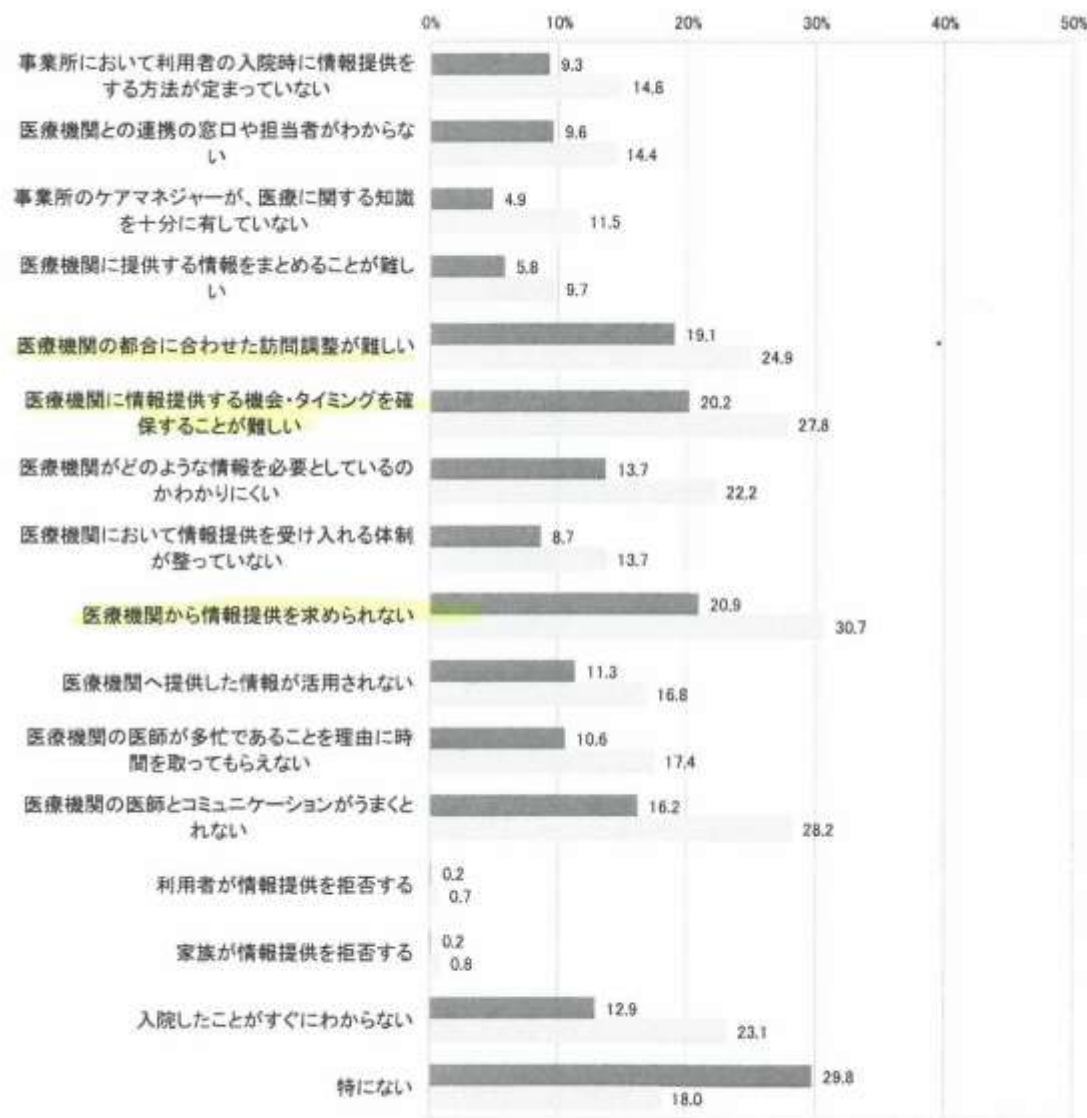
通院同行する場合の理由（ケアマネジャー調査票）（複数回答）



注1)「医療機関への通院同行している」と回答した場合に限定している。

注2)「無回答」を省略。

入院時の情報提供において問題とを感じる点（事業所調査票）（複数回答）



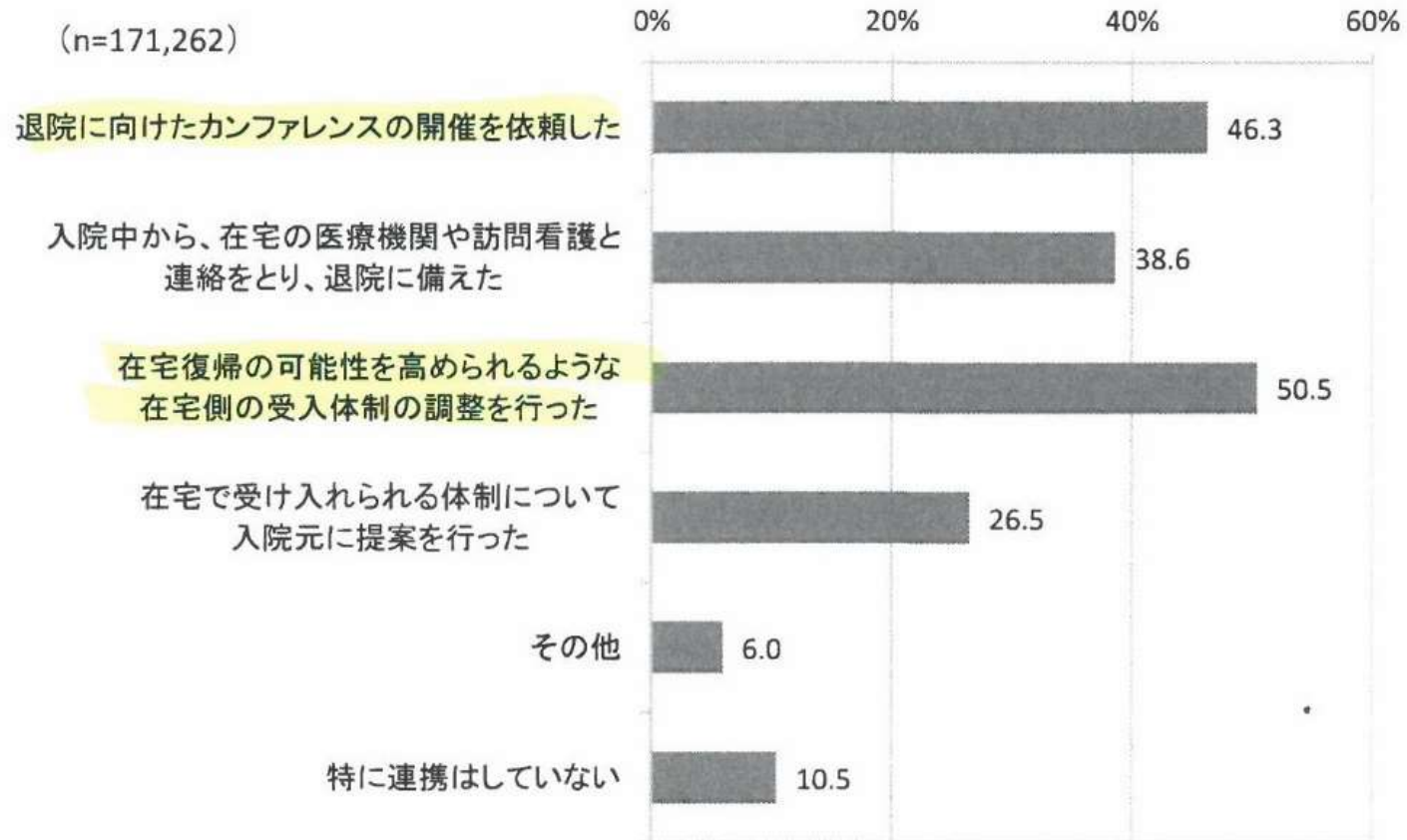
＝最も入院者が多かった医療機関との連携
(n=635)

全体
(n=1,268)

注) 無回答を除く。また、「その他」を省略。

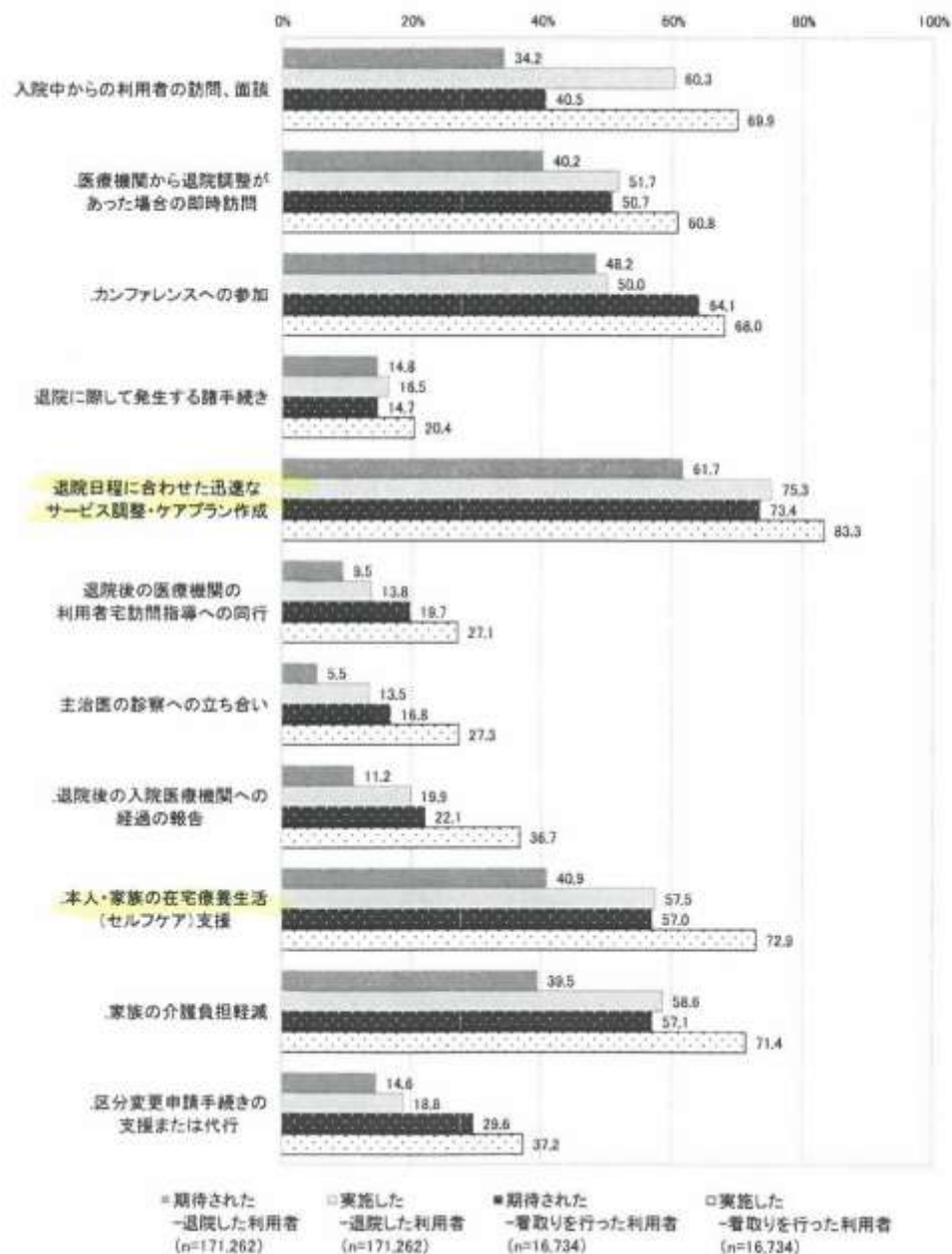
退院した利用者の入院期間中の連携状況

(利用者調査票) (複数回答)

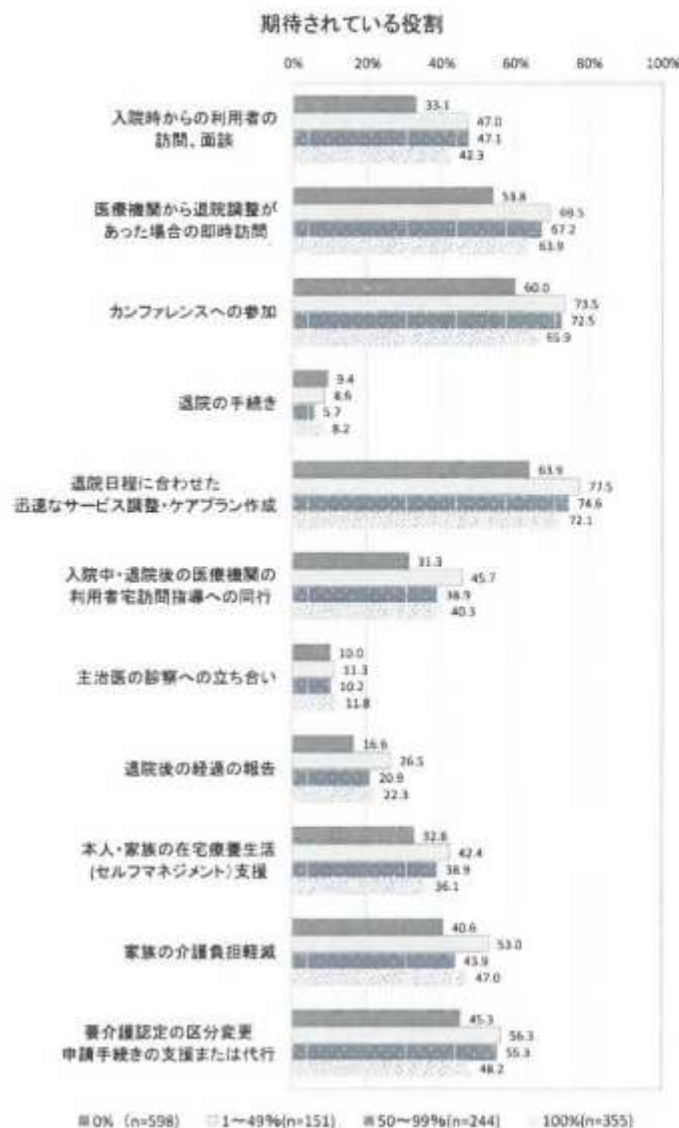


注)「退院した利用者」のnについては、図表32と同様にウエイトバック調整を実施している。

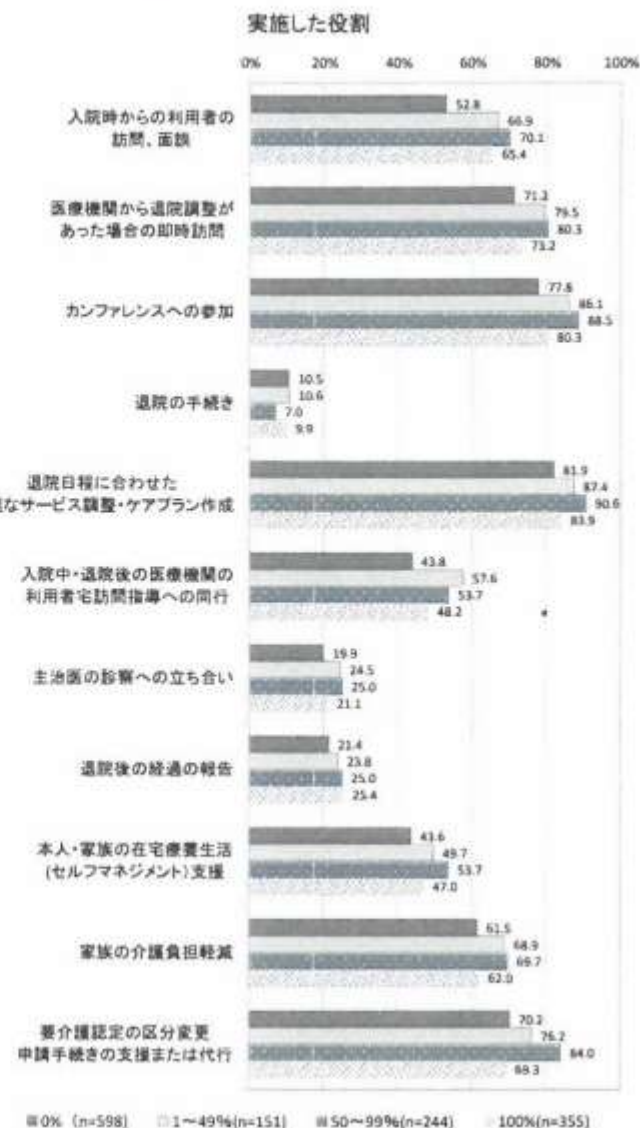
退院時に医療機関から期待された役割と実施状況（利用者調査票）



退院において医療機関から期待されている役割および実施している役割
；入院時情報連携加算適用者の割合別（事業所調査票）（複数回答）



注) 無回答を省略。



注) 無回答を省略。

医療機関の専門職が利用者宅を訪問する場合の同行状況 (ケアマネジャー調査票)



(n=2,513)

注)「医療機関の専門職が利用者宅を訪問する予定があるか」について確認していると回答した場合に限定している。

災害支援活動



東日本大震災



熊本地震



西日本豪雨



とくしま住民参加型在宅福祉サービス

団体連絡会



●設立経緯

- ・小規模な団体では、活動範囲の拡充や各種情報の取得に限界がある。
- ・制度では対応できないケースの増

→ 新たな展開とさらなるサービス拡充と
質的向上のためにサービス団体間の
連携が必須

●発起人 9名

●声かけ団体 県内活動団体 107団体

設立総会の様子



役員あいさつ

●設立総会

平成24年11月17日

- ## ●活動内容
- ①事業の啓発普及活動
 - ②団体間のネットワーク
 - ③運営セミナー
 - ④ホームページでの情報提供
 - ⑤他府県との交流事業
 - ⑥全社協等、関係団体との連携

●事務局

徳島県社会福祉協議会
とくしまボランティア推進センター

●加入団体 約30団体（現在、申込受付中）

●団体設立の影響

- ・NPO活動の底上げ
- ・新たな活動会員の掘り起し

●今後の展開

- ・「ボランティアだから」ではなく、サービスの質の向上を。
- ・団体同士のネットワークを生かし、対応できるケースを増やしていく。
- ・個々の団体の人材力

地域のささえあい担い手養成講座

●目的

ささえあい活動を実践している人や、ささえあい活動に関心がある人を対象にささえあい活動について学ぶ。

●内容

事例発表、グループワーク

●講師

徳島文理大学保健福祉学部 准教授
地域包括ケアシステム構築アドバイザー
活動団体



等

30年度 地域ささえあい担い手養成講座

- ① 1月18日 「傾聴について基礎的な内容」
あわホームホスピス研究会 理事長 五反田千代
- ② 1月29日 「災害ボランティアの養成」
- ③ 2月14日 「傾聴ボランティア育成」 西條志野
- ④ 2月15日 「ささえあい活動」 徳島文理大学 准教授 古川明美
- ⑤ 2月20日 「病院ボランティアについて」
きたじま田岡病院患者サポートセンター 辻敬子
あなたのつきそい・しのはらさん 代表 篠原一志
- ⑥ 3月25日 「車椅子介助の実践講習と認知症の啓発セミナー」
徳島文理大学理学療法士学科 講師 近藤慶承
- ⑦ 2月23日 「ケアボランティアの育成」
内野設計 代表取締役 内野輝明
- ⑧ 3月 2日 「ケアボランティアの育成」
アロマセラピスト 山田輝乃
- ⑨ 3月 9日 「ケアボランティアの育成」
四国大学生生活科学部生活心理コース 准教授 上岡千世
- ⑩ 3月23日 「ケアボランティアの育成」
おおた在宅クリニック 院長 太田敦

地域のささえあい担い手養成講座



那賀町



神山町



佐那河内村



吉野川市牛島地区

平成30年度 実施事業



総会・ささえあい座談会



活動PR DVDの制作



ささえあい活動推進セミナー



サロンサミットの開催

考 察

地域課題は、「井戸掘り」と「千切り」を繰り返す

多くを活かすことより、大事なことを活かす

出会いで道は開ける

千鳥足でも前に進む





第13回
一般社団法人 日本介護支援専門員協会

全国大会 in 四国 徳島県
開催

第4回一般社団法人日本介護支援専門員協会 四国ブロック研究大会

つながり ささえ愛 広がる未来
～新時代の幕開けは四国から～

2019.8.31(土)～9.1(日)
あわぎんホール

ご清聴ありがとうございました